

奨学生名	森下仁丹奨学金/ Morishita Jintan Scholarship)				
財団・寄付者	公益財団法人 森下仁丹奨学会				
目的	昭和38年(1963年)、家庭薬「仁丹」の業祖である 森下博翁の遺志を継ぎ、長女 森下次子（初代理事長 森下泰の母）が、業祖の信条であった「報本反始」（報恩の精神を大切にし、何らかの形で社会に報いる）という積年の想いを実現するため、拠出した寄附財産を基金として設立された財団。以来、未来の日本や世界を担う「志操堅実」「学力優秀」な多くの学生への支援を行う。				
給付額	30,000 円/月 (学部)				
	30,000 円/月 (大学院)				
給付回数	6 回(奇数月の10日に2カ月分支給。1年目は7月・9月・11月・1月・3月に支給)				
奨学生対象期間	2026年6月 から *卒業まで (ただし標準修業年限内に限る)				
推薦予定人数	1 名				
募集人数	30 名				
応募資格 (全て該当する 者)	国籍	日本国籍を有する者			
	セメスター <i>*2026年4月時点</i>	学部生	✓ 3セメ ✓ 4セメ ✓ 5セメ ✓ 6セメ ✓ 7セメ		
		大学院生	修士： ✓ 3セメ 博士： ✓ 3セメ ✓ 4セメ ✓ 5セメ		
	他奨学金	併給不可 (ただし、JASSOの貸与型奨学金・授業料の減免は除く) APUから他の奨学金に推薦中でない者			
	学業成績	通算GPA・総修得単位数の要件は「 学外奨学金 大学推薦選考について 」を参照。			
奨学団体による 義務・決まり	志操堅実、学力優秀でありながら、経済的理由により学業の継続が困難な大学生または大学院生。(日本国籍のみ) (1)家計基準 日本学生支援機構第1種に準ずる (2)人物基準 就学の意志が固く、責任感が強く、学生生活全般を通じて態度、行動に良識があり、かつ修業後、社会に有用な人材となり得る者。 (3)健康基準 大学の保健センター、または医師が発行した健康診断書により、就学に支障がないと認められる者。 (4)学力基準 家計、人物評価を優先し、総合的に判定する。 (5)年齢制限はない。				
	学内推薦決定者は、3月末までに財団に電話連絡をする必要がある。その後申請書類を作成し、財団に提出する。詳細については、推薦予定者にスチューデントオフィスから連絡致します。				
選考スケジュー ル	大学推薦の申請スケジュール	2026年1月25日（日）締切 詳細は「学外奨学金 大学推薦選考について」を参照。			
	奨学生団体への推薦締切	2026年4月中旬頃			
	奨学生団体面接	電話による簡単な面談(3月上旬頃)			
	採否通知	2026年6月上旬頃			
問い合わせ先	スチューデント・オフィス 学外奨学金担当 メールアドレス： apusch@apu.ac.jp				